

第 43 回えいが部「アマデウス」(1984 年)

1823 年 11 月のある夜、ウィーンの街で自殺をはかった老人・アントニオ・サリエリが、精神病院に運ばれた。彼は病床で「許してくれ、モーツァルト！君を殺したのは私だ」と言い続けていた。後日、病状が安定したサリエリを神父フォークラーが訪問し、話を聞こうとする。当初は神父を蔑み拒否していたサリエリだが次第に軟化する。そして、にわかには信じ難い驚愕すべき内容の告白を始める。サリエリは、若い頃は音楽への愛と敬虔な信仰心に生きており、オーストリア皇帝ヨーゼフ 2 世に仕える作曲家として、人々から尊敬されていた。しかし、彼の前に天才作曲家ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトが現れたことが、サリエリの人生のすべてを変えてしまう。その類い稀なる音楽の才能は大衆から称賛され、天真爛漫かつ下品で礼儀知らずな人間性は他の作曲家から軽蔑を受ける。しかし、ただ一人サリエリだけは、「モーツァルトの才能が神の寵愛を受ける唯一最高のものであること」を理解してしまい、自分はモーツァルトの真価が分かる才能しかない凡庸な人間だと思い知らされる。そしてモーツァルトへの激しい嫉妬に苛まされるサリエリの苦悩が、大きな悲劇を生んでいく。

監督：ミロス・フォアマン

- ・ パパ/ずれてる ッ! Taking Off (1971) ※カンヌ国際映画祭審査員特別グランプリ
- ・ カッコウの巣の上で One Flew Over the Cuckoo's Nest (1975 年)
※アカデミー監督賞、ゴールデングローブ賞監督賞
- ・ ヘアー Hair (1979)
- ・ アマデウス Amadeus (1984) ※アカデミー監督賞、ゴールデングローブ賞監督賞
- ・ 恋の掟 Valmont (1989)
- ・ ラリー・フリント The People vs. Larry Flynt (1996)
※ゴールデングローブ賞監督賞、ベルリン国際映画祭金熊賞
- ・ マン・オン・ザ・ムーン Man on the Moon (1999)※ベルリン国際映画祭銀熊賞 (監督賞)
- ・ 宮廷画家ゴヤは見た Goya's Ghosts (2006)

出演 F・マーリー・エイブラハム／アントニオ・サリエリ

- ・ 1973 セルピコ Serpico
- ・ 1976 大統領の陰謀 All the President's Men 警官 1
- ・ 1983 スカーフェイス Scarface オマー
- ・ 1984 アマデウス Amadeus アントニオ・サリエリ
※アカデミー主演男優賞 受賞、ゴールデングローブ賞 主演男優賞 (ドラマ部門) 受賞
- ・ 1986 薔薇の名前 Der Name der Rose ベルナルド・ギー
- ・ 1990 虚栄のかがり火 The Bonfire of the Vanities エイブ クレジットなし

- ・1993 ラスト・アクション・ヒーロー Last Action Hero プラクティス
- ・1998 スタートレック 叛乱 Star Trek: Insurrection ルアフォ
- ・2000 小説家を見つけたら Finding Forrester クローフォード教授
- ・2001 13 ゴースト Thir13en Ghosts サイラス
- ・2013 インサイド・ルーウィン・デイヴィス 名もなき男の歌 Inside Llewyn Davis
- ・2014 グランド・ブダペスト・ホテル The Grand Budapest Hotel

トム・ハルス／ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

- ・1978 アニマル・ハウス Animal House ラリー
- ・1984 アマデウス Amadeus ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト
- ・1989 バックマン家の人々 Parenthood ラリー・バックマン
- ・1991 映写技師は見ていた The Inner Circle イヴァン
- ・1993 フィアレス Fearless ブリステーション
- ・1994 フランケンシュタイン Frankenstein ヘンリー
- ・1996 ノートルダムの鐘 The Hunchback of Notre Dame カジモド 声の出演

エリザベス・ベリッジ／コンスタンツェ・モーツァルト

- ・1981 ファンハウス/惨劇の館
- ・1988 ファイブ・コーナース/危険な天使たち Five Corners メラニー
- ・1999 ペイバック Payback バーの娼婦
- ・2004 オーシャン・オブ・ファイヤー Hidalgo
- ・2015 成果 Results クリスティン

オペラの上演シーンの撮影に使われたプラハのスタヴォフスケー劇場（別名：エステート劇場、あるいはティル劇場。当時はノスティッツ劇場と呼ばれていた/英語版）は、実際にモーツァルト自身の指揮で『ドン・ジョヴァンニ』の初演が行われた劇場である。

モーツァルト役のトム・ハルスはピアノを猛特訓し、劇中の多くの場面で代役や吹替え無しでピアノを弾いている。指揮法についても、本作の音楽を担当したネヴィル・マリナー（指揮者）のトレーニングを受け、マリナーをして「たぶん彼が音楽映画の中で最もちゃんとした指揮をしていると思う」とまで言わしめた。なお、劇中の時代にはまだ現在のような指揮棒が無かった史実を反映して、指揮を行う場面は全て素手を振るう形で行われている。